

**OIST 発のスタートアップ企業 Watasumi (株)に沖縄銀行と協調融資で支援
～沖縄公庫は資本性劣後ローン 6,000 万円を実行～**

沖縄振興開発金融公庫（理事長：新垣尚之）は、W a t a s u m i 株式会社（本社所在地：沖縄県恩納村、代表取締役：David Simpson（デイヴィッド・シンプソン）、令和 3 年 10 月法人設立）に対して、資本性ローンを適用し、6,000 万円（無担保無保証、15 年目一括償還）の融資を実行しました。

事業の概要

W a t a s u m i 株式会社（以下「当社」）は、製造過程で大量の水を消費する酒造メーカー、飲料メーカー、豆腐製造事業者などから排出される高濃度の有機排水を、嫌気性バクテリアで有機物を 99%分解する技術を利用して、現場オペレーションを必要としない自立型の排水処理装置を製造・販売しています。これまで中小企業の食品・飲料メーカーは、排水処理における環境への配慮のためのコストや労力に大きな負担を抱えていました。当社の排水処理システムは、主に中小企業を主要ターゲットとし、工場の規模に応じた企画・設計・製造を行うモジュール式を採用しています。また、中小企業向けに初期費用の負担を軽減できるように、リースの提供も視野に入れています。

代表取締役のデイヴィッド・シンプソン氏は『この度のご支援に深く感謝申し上げます。今回の融資を通じ、当社は県内で雇用を創出し、持続可能な開発目標に貢献しつつ、排水管理コストの削減に取り組む多くの企業を支援できるよう努めてまいります。沖縄科学技術大学院大学（OIST）での研究成果を活用し、エネルギー消費を抑えつつエネルギーを創出し、水をリサイクルする排水処理装置を開発することで、沖縄と国際社会の双方に利益をもたらしてまいります。』とコメントしています。

今次事業の評価及び融資の意義

沖縄振興開発金融公庫は、法人設立前からデイヴィッド・シンプソン氏の研究内容に注目し、コミュニケーションを重ねてきました。当初は同技術の収益化に時間がかかるものと見ていましたが、法人設立後は事業協力者も多く集まるようになり、補助金等の活用を得ながらシード期の資金を獲得しました。県内酒造メーカーとの共同研究により効果が実証されたこともあり、2021 年には世界最大のグリーンビジネスアイデアのピッチコンテスト「ClimateLaunchpad」でファイナリストに選出され、2024 年には台湾で開催される InnoVEX（世界中の最先端の IT テクノロジー、ビジネストrendを紹介するフォーラム、革新的アイデアにあふれるスタートアップ企業によるピッチコンテスト）で Future Award Winner を獲得するなど国際的にも高い評価を受けています。既に国内の小規模酒造メーカーへの販売実績も積み上げ、今般、沖縄公庫はデイヴィッド・シンプソン氏の沖縄におけるさらなる研究開発と、日本本土やアジアへの事業展開の可能性を評価し、沖縄銀行との協調融資により、資本性劣後ローン 6,000 万円の融資を実行しました。

資本性ローンの特徴

資本性ローンは、創業・新事業展開、事業再生に取り組む事業者やコロナ禍で影響を受けた事業者の財務体質の強化を図るために、資本性資金を供給する制度です。貸付条件は、期限一括償還による返済、無担保無保証となります。加えて、本制度を適用したお借入れは、金融機関の資産査定上、自己資本とみなすことができ、過少資本の解消や、信用力の向上が可能となります。

沖縄振興開発金融公庫は、今後も外部機関と連携してスタートアップ企業に対する成長資金の供給を行い、沖縄県の優位性や潜在力を活かし、持続可能な発展につながる新たな産業の創出を目指します。

〔問合せ先〕

融資第二部中小企業融資第一班（担当：比 嘉）	TEL 098（941）1785
業務統括部業務企画課（担当：當 山）	TEL 098（941）1740



本件に該当する SDGs